

大阪経済の情勢

(2023年5月指標を中心に)

2023年7月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチセンター)

「大阪経済は、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;4月)は減少。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は増加。輸出は、持ち直している。輸出額は減少。主要国向けでは、アジア向け・中国向け・ASEAN向け・EU向けで減少。輸入額は減少。

供給面では、生産動向は、一進一退で推移している。大阪府(4月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(4月)は低下。全国の生産(5月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は低下、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(4月)は上昇。

先行きでは、物価上昇等による経済への影響や、世界の経済・金融の動向について、引き続き注意が必要。

		需要							
		消費				投資		貿易・観光	
	総合一致CI(大阪)	大型小売店販売(大阪)	コンビニ販売(近畿)	家電販売(大阪)	新車販売(大阪)	新設住宅着工(大阪)	建築物着工(大阪)	輸出(近畿)	関空外国人旅客
5月		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
4月	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

		供給				
		生産		倒産	雇用	
	生産指数(大阪)	生産指数(全国)	倒産件数*(大阪)	有効求人倍率(大阪)	失業率*(近畿)	
5月		▲	▲	▲	▲	▲
4月	▲	▲	▲	▲	▲	▲

*前年同月と比較し、上向き矢印は「景況改善」、下向き矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向き矢印となる。

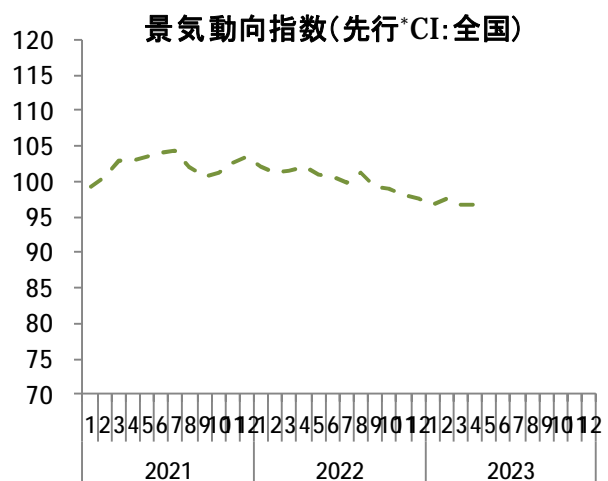
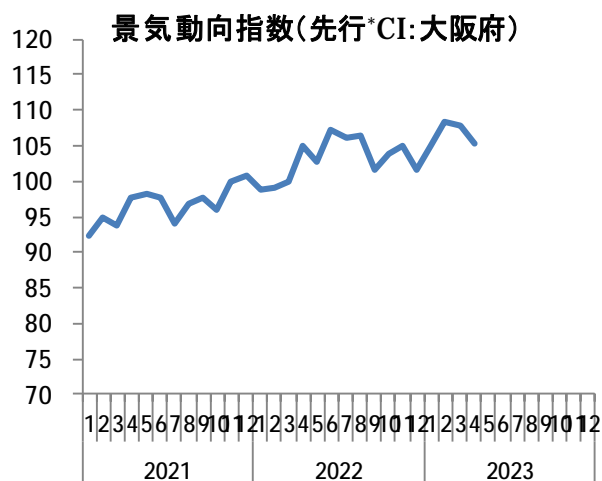
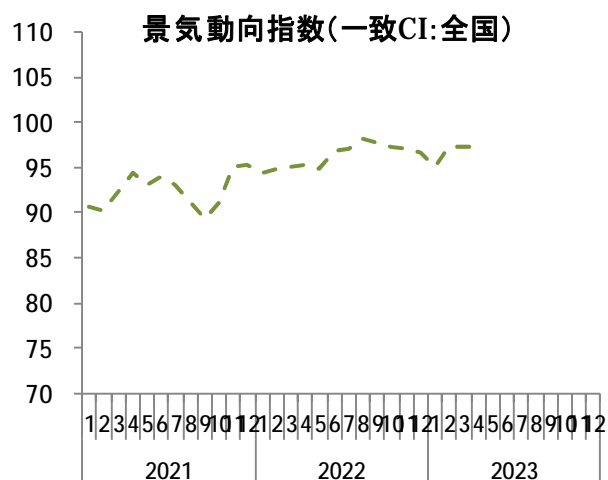
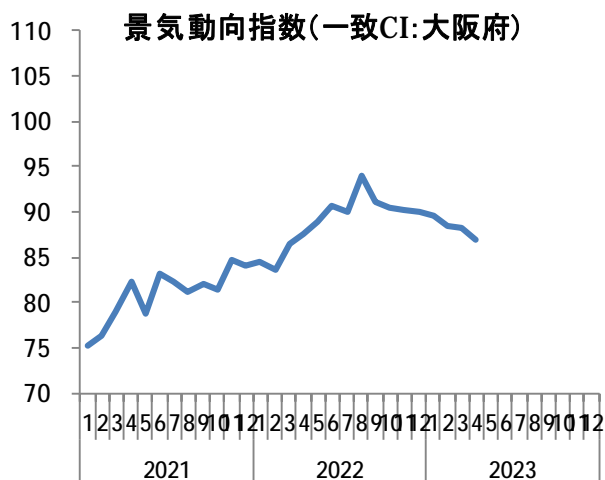
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2023年5月公表分) (2023年3月指標中心)	先月(2023年6月公表分) (2023年4月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター「大阪経済の情勢」	大阪経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。	大阪経済は、緩やかに持ち直している。
内閣府「月例経済報告」	景気は、緩やかに回復している。	景気は、緩やかに回復している。
近畿経済産業局「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、緩やかに持ち直している。	近畿地域の経済は、緩やかに持ち直している。
日本銀行大阪支店「関西金融経済動向」	関西の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。	—

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(4月)では、一致CI、先行CIはともに低下。大阪府(一致CI)では、主に「人件費比率(製造業)」「製造工業生産指数」が低下に寄与。全国(4月)の一致CIは上昇、先行CIは前月から横ばい。】



(資料)大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

* 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

大阪府			
	23年3月	4月	5月
先行CI	107.9	P 105.2	
一致CI	88.2	P 86.9	

全国			
	23年3月	4月	5月
先行CI	96.8	96.8	
一致CI	97.2	97.3	

一致CIの個別系列の寄与度*(大阪府、4月速報)

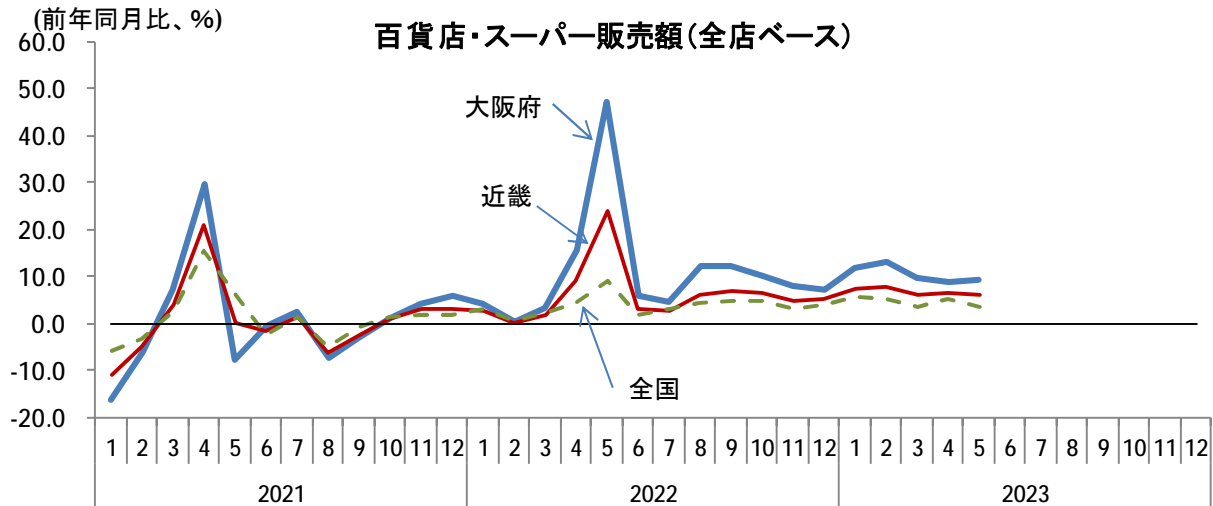
百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
▲0.24	0.05	▲0.72	0.25	▲0.78	0.49	▲0.34

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;4月)は減少。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【20ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		23年3月	4月	5月
販売額(億円)	大阪府	1,531	1,463	P 1,496
前年比(%)	大阪府	9.8	8.9	P 9.3
	近畿	6.2	6.6	P 6.3
	全国	3.6	5.2	P 3.7

百貨店販売額(全店)

		23年3月	4月	5月
前年比(%)	大阪府	16.6	13.0	P 14.1
	全国	8.6	7.6	P 5.3

スーパー販売額(全店)

		23年3月	4月	5月
前年比(%)	大阪府	3.0	4.9	P 4.7
	全国	1.7	4.4	P 3.2

○コンビニエンスストア販売額(全店)【18ヶ月連続の増加。】

		23年3月	4月	5月
販売額(億円)	大阪府	758	746	P 760
前年比(%)	大阪府	8.8	8.3	P 8.5
	近畿	7.5	6.2	P 6.6
	全国	6.0	5.3	P 5.5

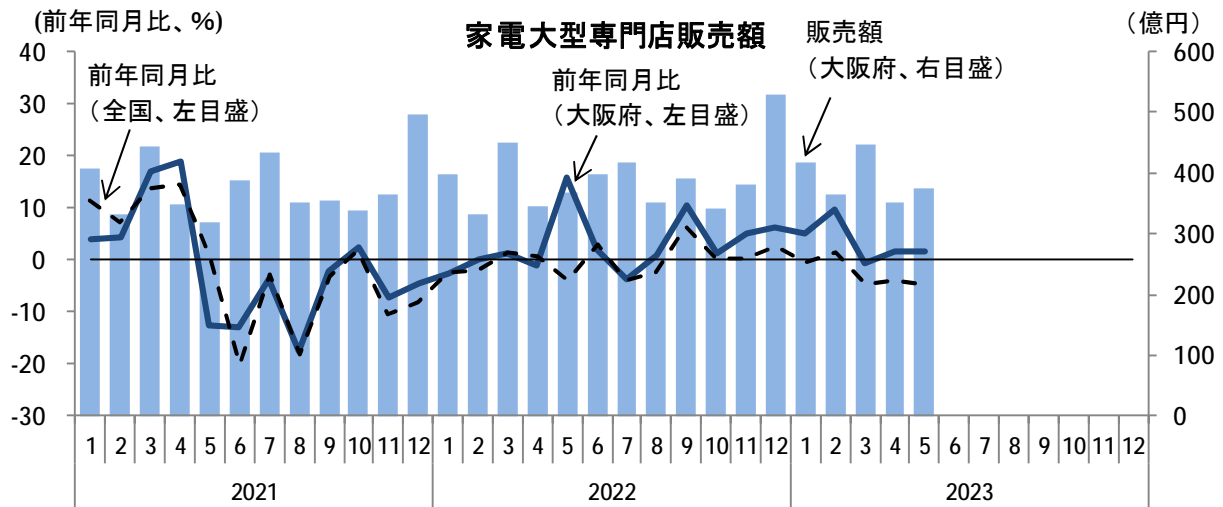
○家計消費支出【近畿(4月)は16ヶ月ぶりの減少。】

		23年3月	4月	5月
円	近畿	323,835	304,179	
前年比(%)	近畿	3.1	▲8.0	
	全国	1.8	▲0.5	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【前年同月比で2ヶ月連続の増加。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		23年3月	4月	5月
前年比 (%)	大阪府	▲0.5	1.7	P 1.6
	全国	▲4.6	▲3.9	P ▲4.7

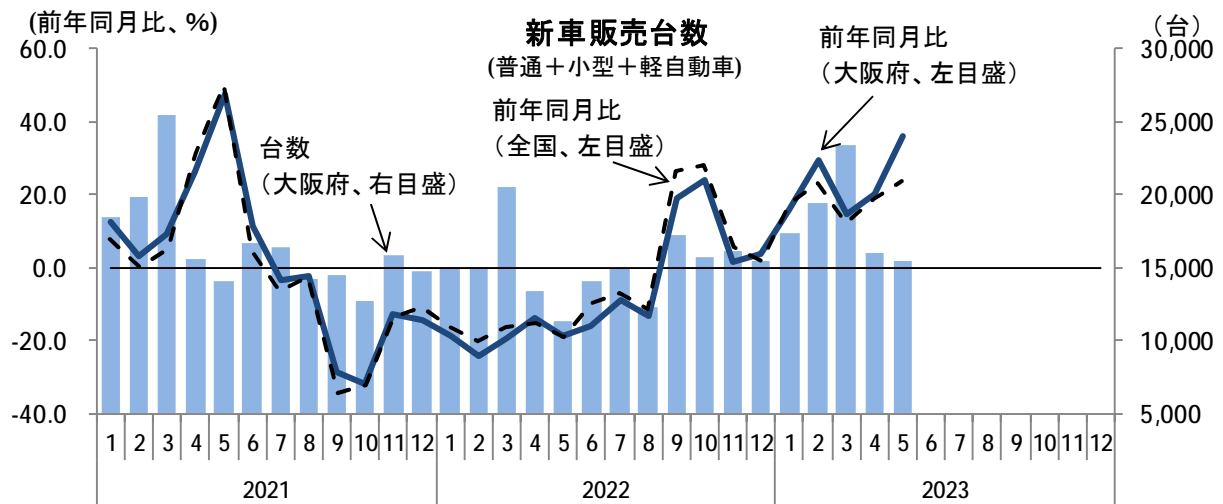
ドラッグストア販売額(全店)

		23年3月	4月	5月
前年比 (%)	大阪府	13.8	11.8	P 14.5
	全国	7.8	9.0	P 9.0

ホームセンター販売額(全店)

		23年3月	4月	5月
前年比 (%)	大阪府	1.7	0.6	P 0.0
	全国	0.3	0.4	P ▲2.0

○新車販売台数【前年同月比で9ヶ月連続の増加。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		23年3月	4月	5月
販売額(台)	大阪府	23,450	16,049	15,490
前年比 (%)	大阪府	14.5	19.9	36.0
	全国	12.1	18.5	23.7

車種別の増減

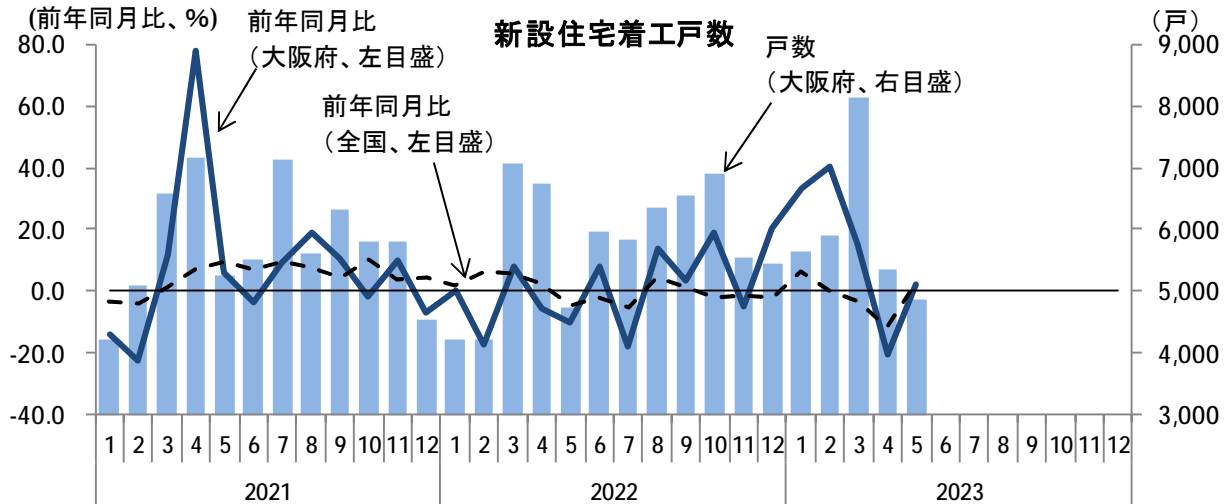
(大阪府、前年同月比(%)、5月)

普通車	小型車	軽自動車
59.5	12.1	19.2

[需要] 投資

投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は増加。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で2ヶ月ぶりの増加。】

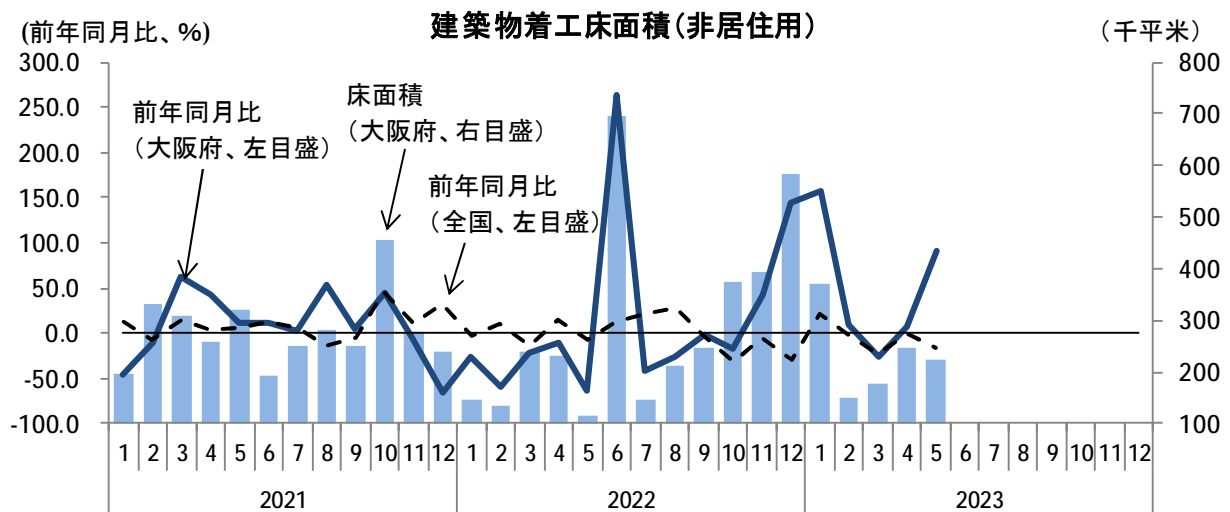


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		23年3月	4月	5月
戸数	大阪府	8,137	5,358	4,866
前年比 (%)	大阪府	15.0	▲20.5	2.5
	全国	▲3.2	▲11.9	3.5

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%）、5月)		
持家	貸家	分譲
4.6	▲10.8	23.1

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で2ヶ月連続の増加。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

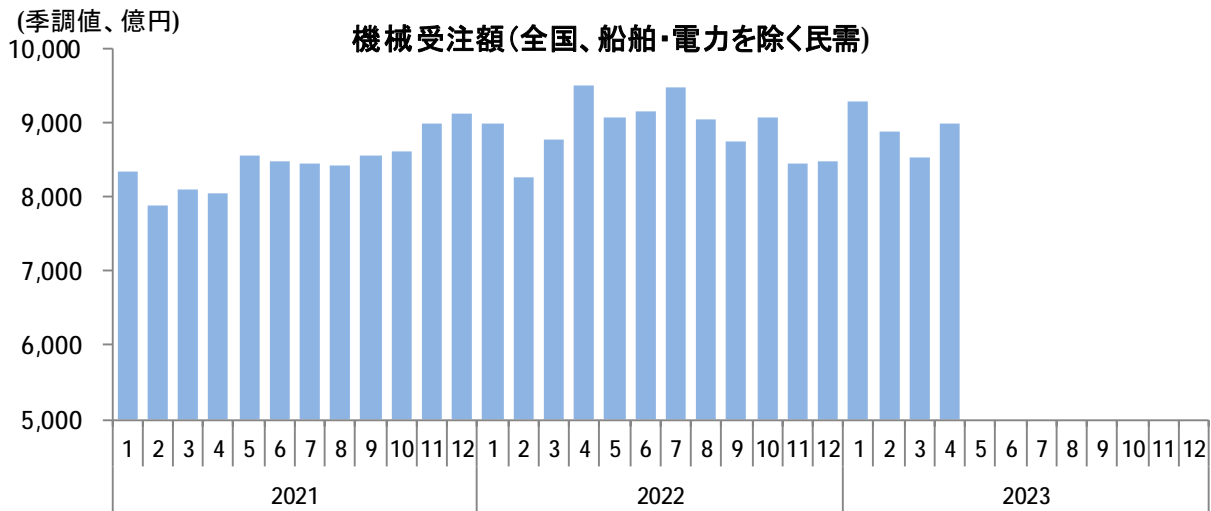
		23年3月	4月	5月
千 m ²	大阪府	178	248	224
前年比 (%)	大阪府	▲25.6	7.4	92.2
	全国	▲22.7	▲1.3	▲17.0

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%）、5月)	
増加	その他のサービス業(72.7)、不動産業(18.2)
減少	卸売業・小売業(▲15.6)、製造業(▲15.1)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

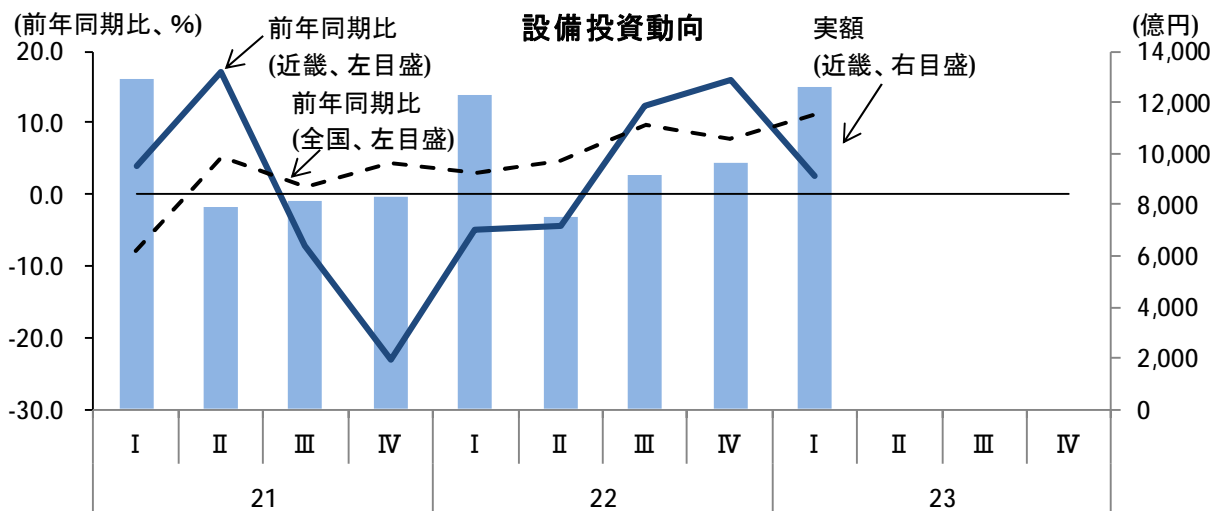
○機械受注額【4月(全国)は前月比で増加。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	23年3月	4月	5月
全国(億円)	8,529	9,000	

○設備投資動向【1~3月期(近畿)は前年同期比で3期連続の増加。「製造業」は減少、「非製造業」は増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		22年7~9月	10~12月	23年1~3月
億円	近畿	9,160	9,616	12,611
前年同期比(%)	近畿	12.3	15.9	2.7
	全国	9.8	7.7	11.0

○公共工事請負金額【3ヶ月ぶりの増加。】

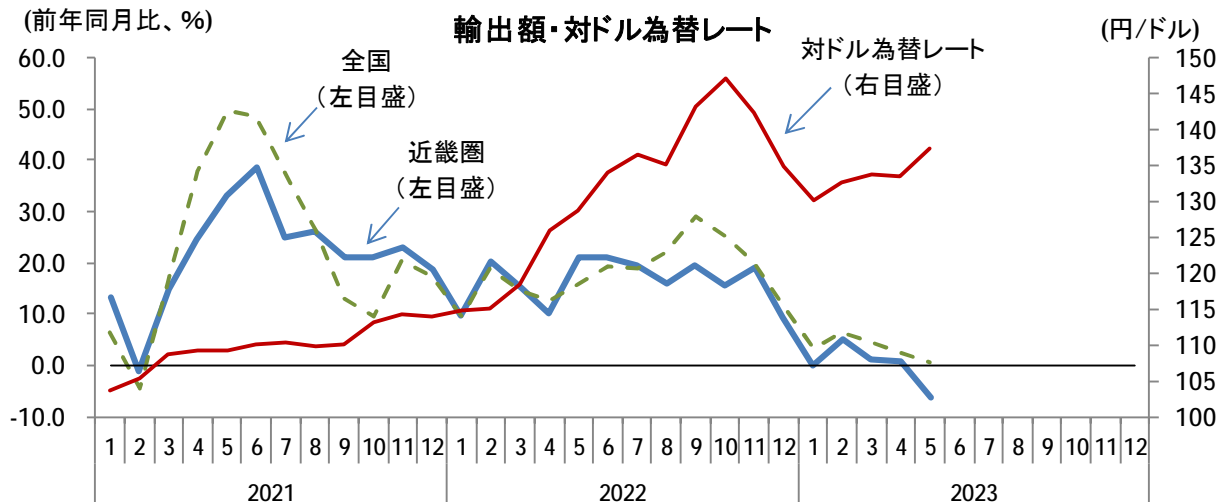
		23年3月	4月	5月
億円	大阪府	443	1,149	1,015
前年比(%)	大阪府	▲23.3	▲21.6	138.9
	全国	5.5	1.9	11.8

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

[需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直している。輸出額は減少。主要国向けでは、アジア向け・中国向け・ASEAN向け・EU向けで減少。輸入額は減少。

○輸出額【4ヶ月ぶりの減少。「半導体等電子部品」、「原料品」などが減少。主要国・地域向けでは、アジア向け・中国向け・ASEAN向け・EU向けで減少。】

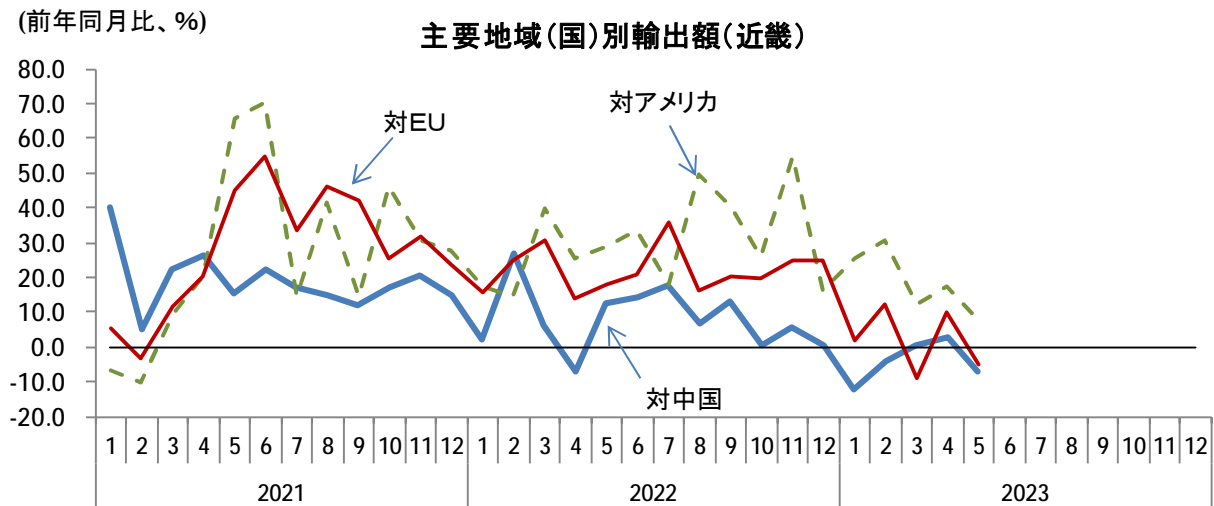


(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		23年3月	4月	5月
輸出額(億円)	近畿	18,988	17,743	P 15,672
前年比 (%)	近畿	1.3	0.8	P ▲6.4
	全国	4.3	2.6	P 0.6
為替レート(円/ドル)		133.85	133.33	137.37

品目別の主な増減 (近畿、前年同月から増減額順、5月)	
増加	自動車、繊維機械
減少	半導体等電子部品、原料品



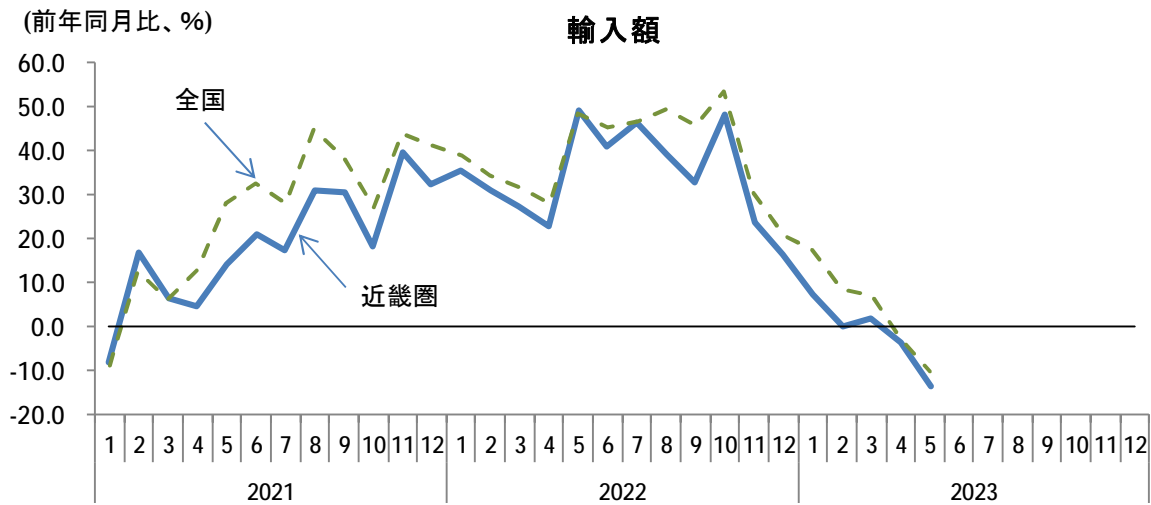
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、5月)

アジア(含む中国)	▲10.1	5ヶ月連続の減少
中国	▲6.8	3ヶ月ぶりの減少
ASEAN	▲2.8	2ヶ月連続の減少
EU	▲4.9	2ヶ月ぶりの減少
アメリカ	7.7	27ヶ月連続の増加

[需要] 貿易・観光

○輸入額【2ヶ月連続の減少。「医薬品」、「原油及び粗油」などが減少。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		23年3月	4月	5月
輸入額(億円)	近畿	16,347	P 15,261	P 15,007
前年比 (%)	近畿	2.0	P ▲3.4	P ▲13.3
	全国	7.4	P ▲2.3	P ▲9.9

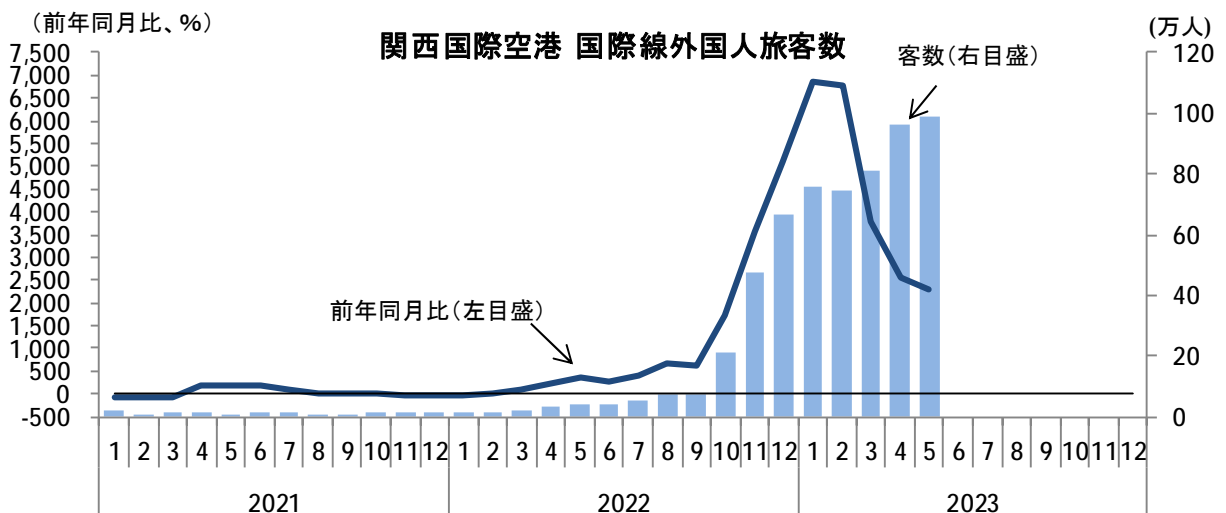
品目別の主な増減
(近畿、前年同月からの増減額順、5月)

増加	がん具及び遊戯用具、肉類及び同調製品
減少	医薬品、原油及び粗油

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、5月)

アジア(含む中国)	▲9.7	3ヶ月ぶりの減少
中国	▲11.0	3ヶ月ぶりの減少
ASEAN	▲10.4	2ヶ月連続の減少
EU	▲34.7	6ヶ月連続の減少
アメリカ	13.1	13ヶ月連続の増加

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で16ヶ月連続の増加。】

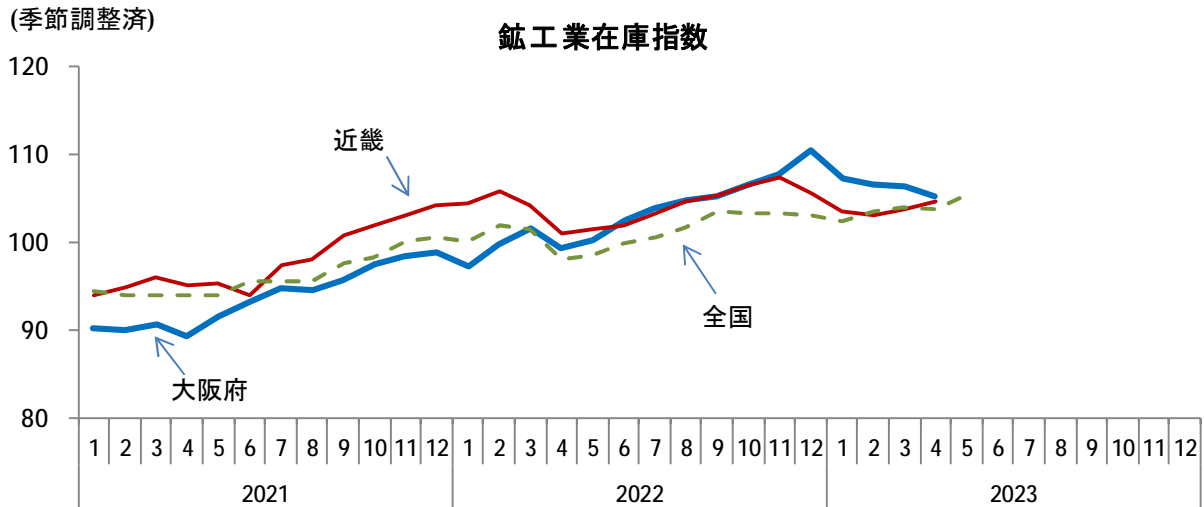


(資料)関西エアポート(株)

	23年3月	4月	5月
万人	81.1	P 96.0	P 98.9
前年比(%)	3802.4	P 2553.4	P 2290.1

[供給] 生産・企業活動

○**鉱工業在庫指数【大阪府(4月)は4ヶ月連続の低下。「輸送機械工業」、「鉄鋼・非鉄金属工業」などが低下。近畿(4月)は2ヶ月連続の上昇。全国(5月)は2ヶ月ぶりの上昇。】**



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。大阪府、近畿は2015年=100。全国は2020年=100。

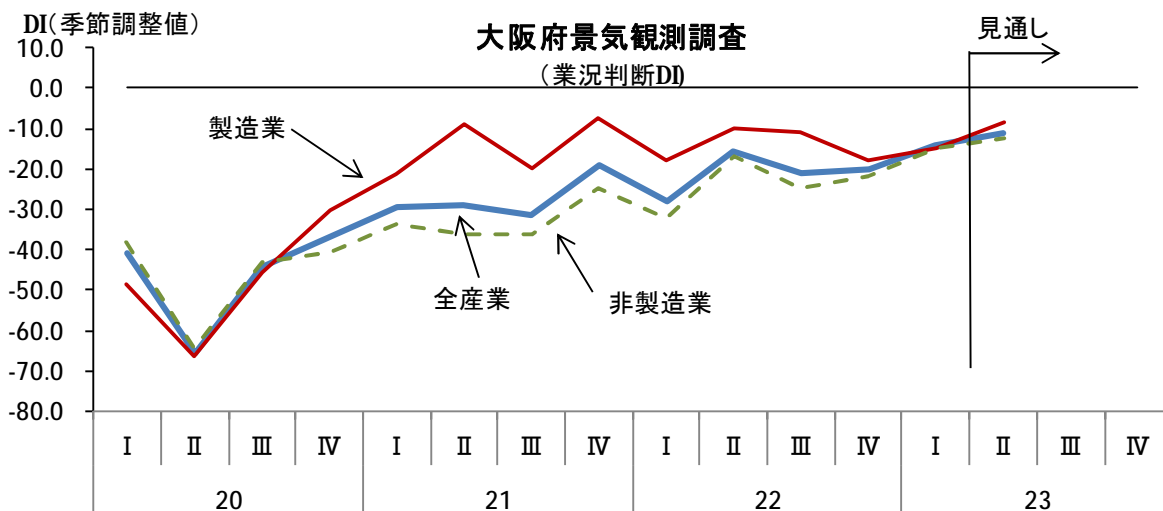
鉱工業在庫指数

季調済	23年3月	4月	5月
大阪府	106.2	P 105.2	
近畿	103.7	104.5	
全国	103.8	103.7	P 105.3

在庫指数における産業別の主な変動
(大阪府、前月比(%)、寄与度順、4月速報)

上昇	化学工業(1.5):アンモニア、合成洗剤
	金属製品工業(2.0):産業用アルミニウム製品、作業工具
低下	輸送機械工業(▲15.3):電動アシスト自転車
	鉄鋼・非鉄金属工業(▲1.1):鉄鋼切断品、鋼半製品

○**企業の業況判断【1~3月期(全産業)は2期連続の改善。】**

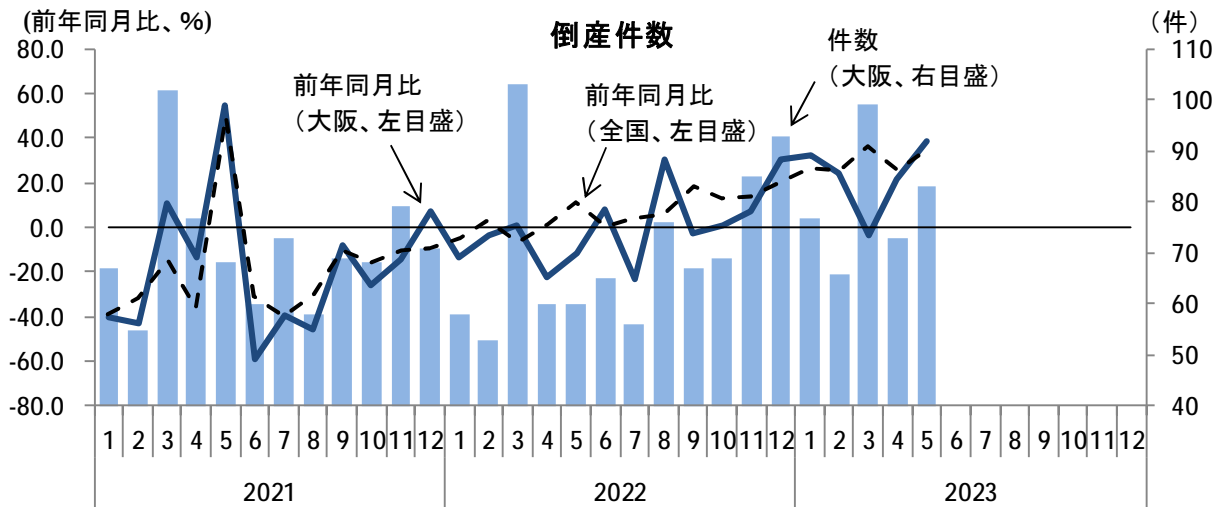


(資料)大阪産業経済リサーチセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	22年 7~9月	10~12月	23年1~3月	4~6月 (見込み)
製造業	▲11.2	▲17.8	▲14.8	▲8.4
非製造業	▲24.9	▲22.1	▲14.9	▲12.5
全産業	▲21.3	▲20.3	▲14.4	▲11.1

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で2ヶ月連続の増加(悪化)、負債金額は前年同月比で3ヶ月連続の増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		23年3月	4月	5月
件	大阪府	99	73	83
前年比 (%)	大阪府	▲3.8	21.6	38.3
	全国	36.4	25.5	34.7

負債金額

		23年3月	4月	5月
億円	大阪府	115	86	78
前年比 (%)	大阪府	21.0	111.5	4.8
	全国	▲13.1	150.8	218.9

主要業種の倒産件数(大阪府)

	23年3月	4月	5月
建設業	18	13	16
製造業	13	13	10
卸売業	12	6	11
小売業	10	8	4
サービス業他	35	22	28

主な倒産(大阪府、5月)

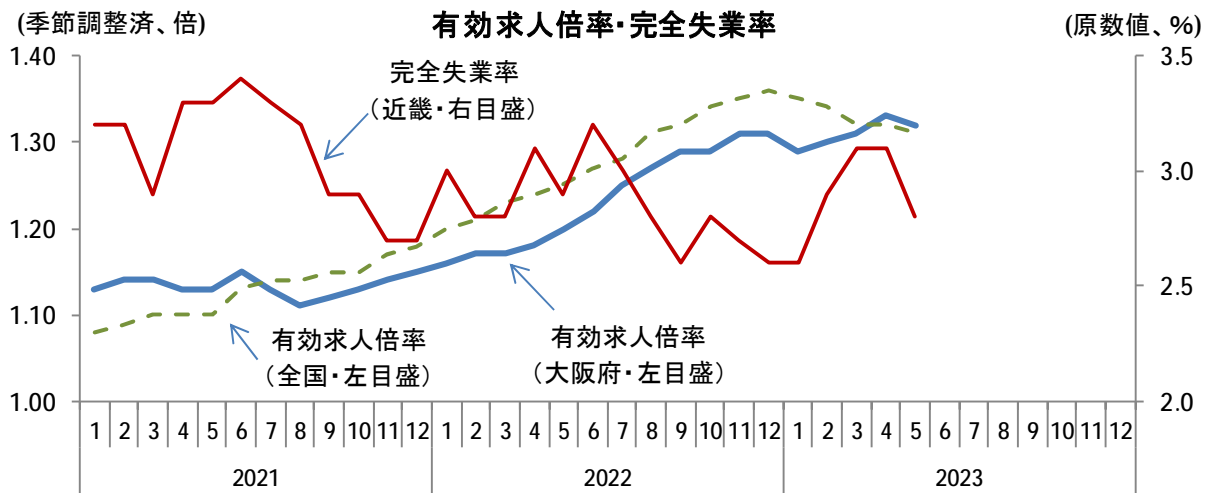
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
パチンコ店経営	3,400	販売不振
化粧品通信販売	1,000	売掛金等回収難
精密機械装置製造・据付	400	既往のシワ寄せ

[供給] 雇用

雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は低下、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(4月)は上昇。

○完全失業率【近畿は前年比で4ヶ月ぶりの改善】

有効求人倍率【大阪は4ヶ月ぶりの低下】、新規求人倍率【大阪は3ヶ月ぶりの上昇】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	23年3月	4月	5月
%	3.1	3.1	2.8
前年同月差	0.3	0.0	▲0.1

完全失業率(全国、季節調整値)

	23年3月	4月	5月
%	2.8	2.6	2.6
前月差	0.2	▲0.2	0.0

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	22年7~9月	10~12月	23年1~3月
大阪府	3.3	2.8	3.7
近畿	2.8	2.7	2.9
全国	2.6	2.4	2.6

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	23年3月	4月	5月
大阪府	1.31	1.33	1.32
全国	1.32	1.32	1.31

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	23年3月	4月	5月
大阪府	2.78	2.70	2.80
全国	2.29	2.23	2.36

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

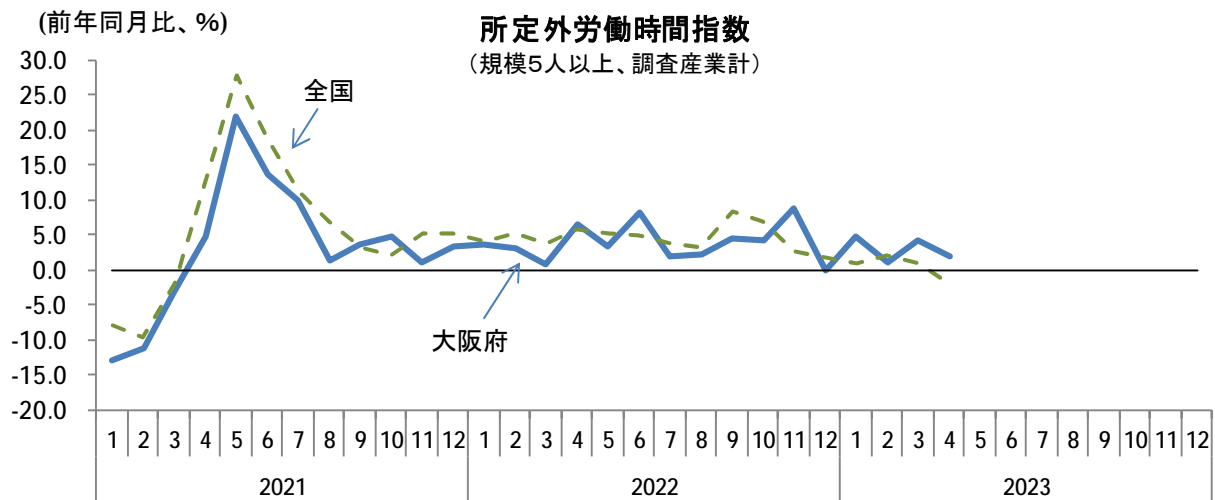
	23年3月	4月	5月
産業計	5.2	3.7	8.3
建設業	▲5.0	0.5	2.9
製造業	2.2	6.5	8.6
卸売業、小売業	15.2	7.6	6.4
宿泊業、 飲食サービス業	19.4	▲0.3	18.4
医療、福祉	2.9	▲1.6	9.0

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用

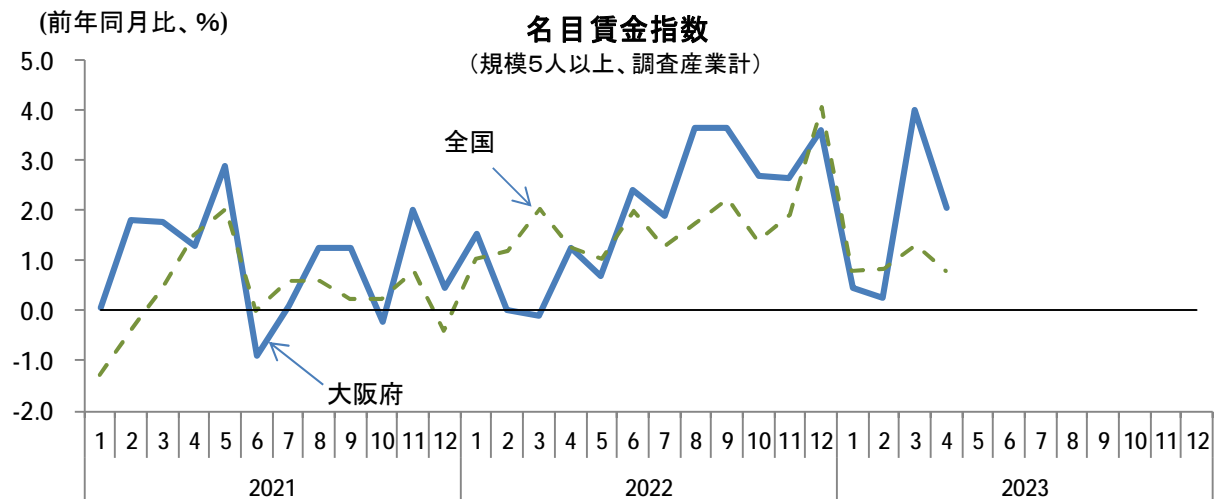
○所定外労働時間指数【大阪府(4月)は4ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2020年=100)による。

		23年3月	4月	5月
指数	大阪府	112.9	114.1	
前年比 (%)	大阪府	4.3	2.1	
	全国	1.0	▲1.9	

○名目賃金指数【大阪府(4月)は13ヶ月連続の上昇。】

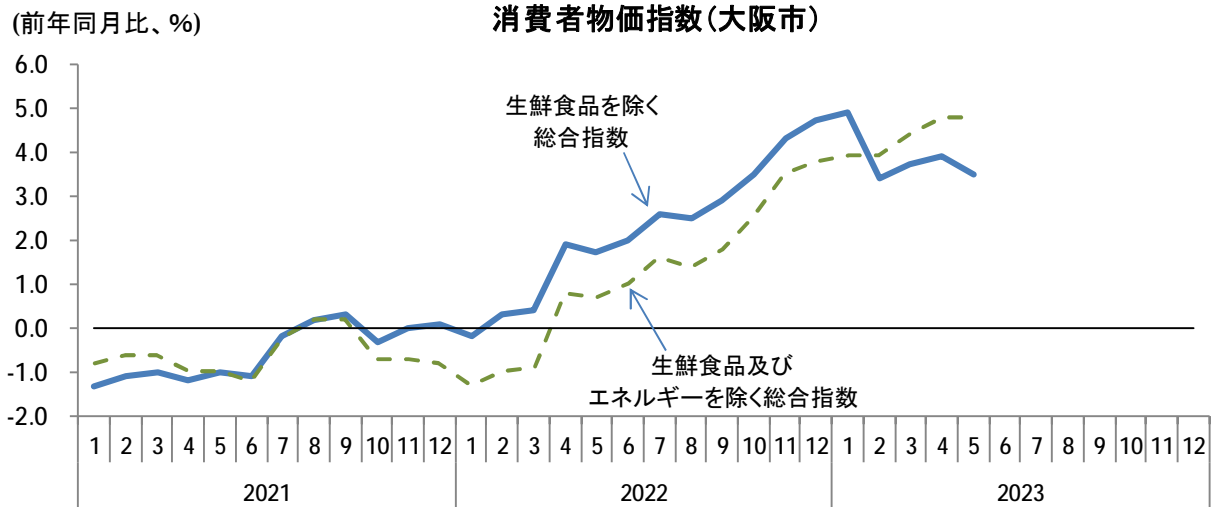


(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2020年=100)による。

		23年3月	4月	5月
現金給与総額(円)	大阪府	305,402	295,294	
前年比 (%)	大阪府	4.0	2.0	
	全国	1.3	0.8	

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 16 ヶ月連続の上昇。「食料」「家具・家事用品」などが上昇。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 14 ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2020年=100。

総合指数

		23年3月	4月	5月
指数	大阪市	104.4	105.0	P 105.0
前年比 (%)	大阪市	3.8	3.9	P 3.6
	全国	3.2	3.5	3.2

生鮮食品を除く総合指数

		23年3月	4月	5月
指数	大阪市	104.2	104.8	P 104.6
前年比 (%)	大阪市	3.7	3.9	P 3.5
	全国	3.1	3.4	3.2

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		23年3月	4月	5月
指数	大阪市	103.8	104.6	P 104.8
前年比 (%)	大阪市	4.4	4.8	P 4.8
	全国	3.8	4.1	4.3

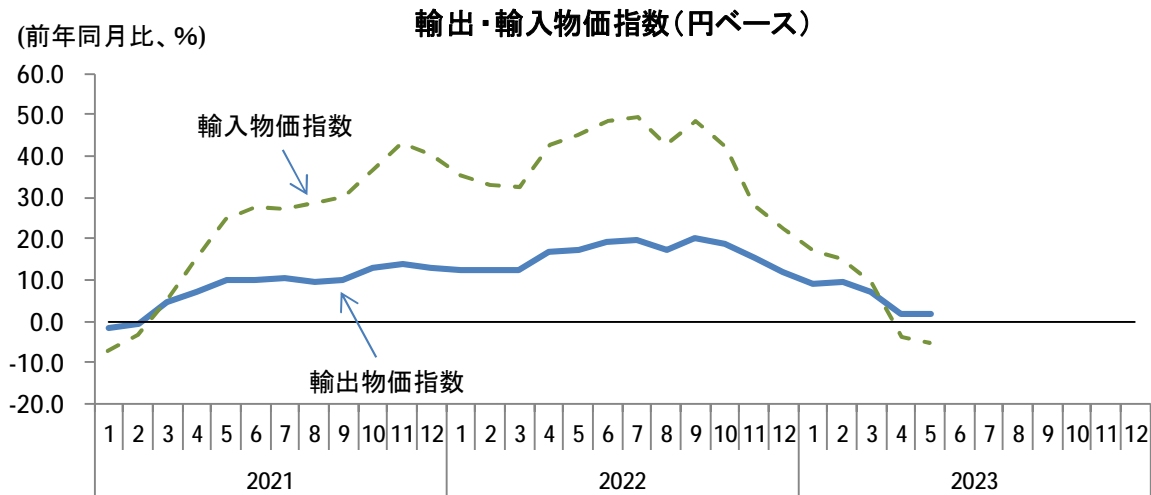
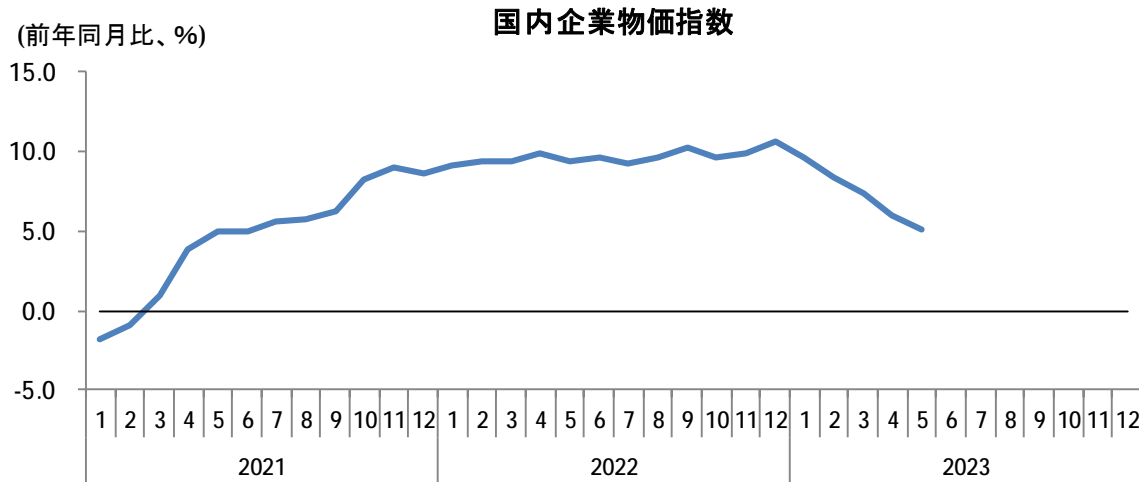
総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、5月速報)

上昇	食料(9.3): 乳卵類(チーズ(国産品・輸入品)、鶏卵)、魚介類(あじ、いわし、魚介つくだ煮) 家具・家事用品(10.3): 室内装備品(照明器具、カーペット、クッション)、家事用消耗品(ティッシュペーパー、ラップ、殺虫剤)
低下	光熱・水道(▲10.5): 電気代(電気代)、他の光熱(灯油)

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は2020年=100。

企業物価指数

	23年3月	4月	5月
国内企業物価指数	119.6	119.9	P 119.1
輸出物価指数	126.7	126.8	P 128.9
輸入物価指数	161.5	156.6	P 160.0

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2020年=100。

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(5月速報、寄与度(%))

上昇	農林水産物 (0.03) : 豚肉、しらす干し、干のり
低下	電力・都市ガス・水道 (▲0.63) : 事業用電力、都市ガス 石油・石炭製品 (▲0.06) : ガソリン、軽油、液化石油ガス